

学校教育目標『高くかかげよ』～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～

日比中だより

第6号



TEL (0848) 22-6513 FAX (0848) 22-2002

URL <http://www.onomichi.ed.jp/hibizaki-j/> 令和4年7月20日(水)

メールアドレス hibizaki-j@onomichi.ed.jp 尾道市立日比崎中学校

赤船祭特集その③ " 体育競技の部を振り返って "

今回は赤船祭特集最終版として、各学年からの「赤船祭体育競技の部を振り返って」（一部抜粋）の紹介をしたいと思います。生徒たちの振り返りの中には、随所に「一生懸命」や「全力」、「達成感」、「一体感」、「あこがれ感」のワードが溢れていて、仲間とともに一段と成長することを生徒自身が本当に強く実感できたことを感じさせます。

1年生の振り返りより

○練習からみんな本気で、1回・2回の赤船祭がどのようなものだったか知らないけれど、みんなが良かったと思えた赤船祭になったと思う。赤船祭にかぎらず、サバプロや学級での話し合いなど色々な場面でみんなと協力したり、活動したりするから今回の赤船祭を生かしていきたい。

○ダンボール運びって運び終わると、今まで運んでくれた人の頑張りを運んだみたいになれます。そういう気持ちが味わえたのも、まわりの人のたった一言、私が「せっかく後ろにいるんだから」と決めた一心で頑張りが続けたからだろうなと思います。私はそれから練習が楽しくなりました。勝つことの重要さより、楽しんで盛り上げることが大切だと気づきました。ダンスも笑顔でおどった方がまわりの人も笑顔になれるだろうし、自分も気分が良くなりました。今の3年生、2年生のように、できていないまわりの人に優しく教えたり、自分の伝えたいことはきちんと言ったりできる存在になっていきたいです。

○この赤船祭を通して、日比崎中学校も1つにまとまったと思います。「昨日の敵は今日の友」と言うぐらいだから、生徒会スローガンの「一味同心」に向けた大きな一歩も、学校が1つにまとまる一体感にとっても、良い出来事だったと思いました。まだ1年は始まったばかりなので、他にもさまざまな行事をするけれども、その時は初心に戻り、大切な基礎をしっかりと使えるようにしておきたいと思いました。

○私は体を動かすことが大好きで運動会をすごく楽しみにしていました。なので今年は応援リーダーに自分からなりました。毎日昼休けいの時間に体育館に集まり、優しい先輩に校歌の歌い方やダンスのふりつけを教わり、クラスの青団、1年生の青団に教える作業を中心に頑張ってきました。自分の中では覚えやすく簡単だと思っていましたが、いざ教えるとなるとうまくいかない事もありました。その時私は先輩の教え方の上手さを実感しました。3年の先輩の前の先輩も、その前の先輩もずっとそうやって後輩に教えて受けついできたんだなと思うと、私が先輩になった時、今の先輩のようになれるよう、日頃から積み重ねが大切だなと思いました。先輩には本当に感謝していますし、尊敬していますし、何より憧れています。学んだことはこれから先、役に立つことだと思います。絶対に忘れず過ごしていきたいと思います。

○得点が発表されるとき、私は競技の部は優勝できると自分の中では思っていました。でも赤、白団の発表をみたときどっちの団も練習と同じ曲、同じふりつけだったはずなのに練習とは全然違うぐらい上手だったし、カッコ良かったです。みんなで集まり、声を出したり、円陣を組んだりしました。その時の先輩や友達の顔がいつもとは違っているように見えました。このとき私は本気でがんばって優勝をとろうと心から思えました。演技が始まってだんだん他の

団の人から声が増えてきたときはとてもうれしかったです。練習のときに教えてもらった動きや声、全部みんなで協力し、自分の力を出しきって退場しました。その時私は達成感であふれていました。

2年生の振り返りより

○ただひたすらに楽しかったです。思い返しても、練習から本番まで楽しくない時なんてなかった。暑い時だって、疲れた時だってみんなで乗りこえたから今がある。そんな雰囲気、達成感が好きなんです。校長先生がおっしゃっていた“一体感・憧れ感・達成感”も味わうことができ、ものすごく充実した赤船祭だったと思います。今年前に出ていろいろリードしてくれたあの立場に来年自分達が立つと思うと、怖いし、緊張するし決して楽ではないと思うけど、いままでみてきた先輩方の後ろ姿は、それだけで安心できるものでした。そんな先輩を見習って存在だけで安心させられるような、誰かが誇らしく思ってくれるような先輩になり、あそこに立ってやろうと思います。たくさんの壁はあると思いますが、あんなにかっこいい一生懸命な先輩方を2年間みておいて、自分たちにバトンが回ってきたら何もせずに情けない姿をみせるは嫌です。去年は一体感でしたが、今年は圧倒的憧れ感でした。来年は何が強くなるのでしょうか…？もう今から来年が楽しみです。

○2年生である自分たちにとっては2回目の赤船祭だったが、今回は昨年とは違う達成感があった。何をやるにも協力しないと始まらない。ということは協力したら精神的にも強くなることができ、一人りじゃ届かない所にも届くことができる。もう一つこの赤船祭で感じたことは、「楽しい」ということ。昨年は「勝つ楽しさ」今年「協力する楽しさ」。そして、昨年は1年だったこともあり、この学校の伝統である校歌がどんなものかあまり分かってなく、伝統が分かった今、受け継いでゆくというのはまさにこのことだと思った。今度は自分達の代だから、来年の1年生に日比中の伝統である校歌を伝承し、自分たちが感じた一体感を感じてほしい。

○今回の赤船祭体育競技の部に、私は「次は自分たちの番」という思いで臨みました。開会式の入場行進や学年競技、縦割り種目、ええじゃん、応援合戦、テントでみんなを応援しているときなど、さまざまな場面で3年生の一生懸命な姿を見ることができました。それはとてもかっこよく、自分たちもあのようになりたいと思いました。来年はそれを自分たちが後輩たちに伝えられるようにがんばろうと思いました。また仲間との絆が深まったり、協力することや諦めないことの大切さを知ったり、一生懸命のかっこよさを感じたりしたので、そのことをこれからの行事や生活に生かしていきたいです。

○一番良かったのは、応援合戦だと思う。練習では最初、覚えることに精一杯で（自分も）やばいのではないかと考えた。けど団長とか応援リーダーとか3年生が教えるのがすごく上手くて、みんなでいいダンスを作り上げていけたと思う。今年の赤船祭では自分は一体感と達成感を味わうことができた。そして行動目標の一人一人が自分らしく全力で積極的に取り組むこと、一人一人が責任感を持って一生懸命に取り組むこと、壁をなくして積極的に協力することができたと思う。

○赤船祭体育競技の部はとても楽しかったです。苦手なことでも一生懸命取り組む、校歌などで大きな声を出す、かけ足で移動する、全力で楽しむことです。そして、思ったことは「一生懸命はかっこいい」です。今年の3年生のええじゃんを見て再び思いました。全員が大きな声を出し、大きな動きで踊り、全力で走って入場して、すごくかっこ良かったです。来年はこれを超えられるような演技をして、見ている人に一生懸命はかっこいいことを感じてほしいです。3年生になるので縦割り種目や応援合戦では1、2年生とコミュニケーションをとり、引っぱっていけるようにしたいと思います。今年の赤船祭は、達成感、あこがれ感、一体感を感じられる大成功の赤船祭でした。

○今年も昨年と同じく達成感も強く感じられました。それも全力で楽しめたおかげだと思います。今回の赤船祭で分かったことは、全力ですることは楽しい、ということです。赤団の団長もおっしゃっていましたが、一番は楽しむこと。本当にその通りだと思います。優勝とか関係

なく全力で楽しみましょう！という言葉が本当に心に響きました。その言葉を心に演技の部を行ったら、より一層楽しかったです。それに見ている方々も楽しい演技に各団なったと思いました。これからも、校歌と達成感、あこがれ感、を大切にしながら来年私たちが行う赤船祭体育競技の部でも今年と昨年の赤船祭を鏡としながら皆が楽しめる事を目標とした赤船祭を行っていきたいと思いました。

○この赤船祭を通して学んだことは、仲間とやり切る力です。まさかW優勝するなんて思ってもみなかったんですけど、実際演技が終わると、もしかしたらW優勝もあるかもしれないとワクワクしていました。でも本当にうれしかったです。この赤船祭で終わるのではなく、普段の生活に生かしていければいいと思うのでがんばっていきたいと思います。今回の赤船祭は前回の赤船祭とは少し違った達成感を感じることができたので、次回の赤船祭も生かして楽しみたいです。

○赤船祭を通じて、クラスや学校で一体感をそれぞれが持ち、目標に向かって全力で取り組んでいく力が付いたと思う。しかし、この力を赤船祭が終わってすぐ忘れてしまうのではなく、クラス内で積極的に協力したり、お互いを高め合ったりしてよりよい方向へ成長を続けたいです。そして、来年3年生になるときの赤船祭では今回の団長たちのように1、2年生を鼓舞できるような先輩になりたいです。

○今年の赤船祭は、去年の赤船祭と比べて、2年生になって頼る側だったけど頼られる側にもなったので、去年とは違った大変さがあると感じました。来年は頼られる側になることが多いと思うので、先輩たちの姿をしっかりと目に焼きつけて、憧れられるような人になりたいです。そして、先輩たちが残してきた日比中の伝統を自分たちがしっかりと受け継いで後輩たちに伝えていきたいという思いが強くなりました。赤船祭という素敵な思い出を忘れたくないなと思いました。赤船祭で学んだことを普段の授業や学校生活、勉強、そして次の行事でも生かしていきたいと思いました。来年の赤船祭は今年よりもパワーアップした姿をみせて楽しみたいです。

3年生の振り返りより

○この第3回赤船祭体育競技の部を通して全力ですることがかっこいい、全力でする楽しさ、協力することの大切さを学んだ。本番では競技の部3位、応援合戦の部は金賞をとれず、W優勝することはできませんでしたが、この3年間で最高の赤船祭になったと思います。僕は赤船祭本番よりも練習期間のほうが大事だと思っていて、どれだけ自分が全力で出来たかで、本番へのモチベーションも違うし、苦しい中でも、仲間と協力して最後まで尽くすことができたなら必ず成長できます。この約1カ月間こんな僕についてくれた副団長をはじめ、みんなには感謝しかありません。僕たちの伝えたかったことは後輩に伝わったと思うので、来年期待しています。「つらいことの先には必ず楽しいことが待っている」ということをこの赤船祭で実感できました。もう1度言いますが、最高の赤船祭でした。

○この赤船祭で色々な先生方に教えてもらったおかげで赤船祭が成功したと思います。また、学年関係なく支え合ったのも大きいと思います。みんなと先生方に感謝しかありません。この最高な赤船祭で身に付けたパワー、実力などを普段の生活に生かし、涙と歌声と笑顔あふれる最高の卒業証書授与式にしていきたいです。また、この赤船祭をこえる勢いで来年1、2年生に頑張ってもらいたいです。このコロナ禍で開催できたことに感謝したいです。

○夢や目標を言葉で表現するのは簡単だけど、大事なのはそのために自分がどんな行動に移すかだと思って改めて考え直すきっかけになったのがこの赤船祭を通しての一番成長できた点じゃないかなと思いました。団が違ってものその垣根を越えて支え合うことは自分たち3年生、受験生にとっての第一歩だと思えたので、これから迫ってくるテストや音楽コンクールなどの色々なことに通ずる原点に出来たかなと思いました。リーダーとして動いた4週間は思った以上にあっという間で充実した大切な時間でした。優勝できなかったことの悔しさはあるけど、頑張ってきたことに対する後悔は一切ないと自分でも思っています。困難や不安をみんなで一緒に乗り越えてきて本当に良かったです。

○赤船祭の練習は忙しくて体力的にもしんどくて、たまにメンドクサイ、イヤダ、など思った時もあったけど、もっと練習したい！もっと楽しみたいというように考え方がかわってしまいました。中3は多忙で2年生とはわけが違うなと思いました。こんなスピードで毎日が過ぎていくのは、さわやかで気持ちイイような、楽しい学校生活がすぐに終わるようで切ないような複雑な気持ちです。なので一日一日を大切にしたいと思ったとともに、部活はもう1か月ちょっとで引退ということなので一日一日を熱心に大切に丁寧にしていこうという心になりました。ずっと中学生がいいです!! !! !! 赤船祭で全力で取り組んだ人が感じる気持ちが分かる気がします。この高ぶる気持ちを、あと少ししかない大好きな部活、勉強、文化祭、音コン、受験、卒業式などに向けて燃えていきます。

○上手くいかなかった時に、次にうまくいくようにするためにはどうすればいいのか考えて、工夫して、次に向けて準備することが大切だと小学校の時から教わっていたけど、初めてそのことの大切さが身にしみて分かりました。私は、今回の赤船祭で一番先頭になってみんなを引っばってくれた団長に感謝しています。私達を「優勝したい。トロフィーがほしい。」と気持ちを一つにしてくれたのは団長で、一人ですって考えて、泣いたりもして白団をすごく価値あるものにしてくれた落合くん、白組みんなで大気の感謝、お礼をしたいなと思いました。「落合くんありがとう!!」

○僕はこの赤船祭で2人の涙がとても印象に残っています。1つ目の涙は、リレーを走っていた子が思うような結果が出ず泣いている姿。そして閉会式の時に一人泣いていた白組団長。どちらも本気で行って後輩たちをまとめてきた人で、涙が出るくらい本気でやっていたんだなと思いました。それだけ赤船祭に思いがあって、この3年生のメンバーならどんなことも成功させられるなと心から思い、これからの学校生活がとても楽しみにになりました。

○自分は体育祭があまり好きではないです!!でもそんな僕でも色々な感情を持つことができるのがこの行事の良い所の1つかな～と個人的に思いました。僕はこれからこのことをどう生かそうかなと考えた所、自分は自分の事は自分でしっかり考えて動く。ということや、さらに高みを目指すためにどうしたらいいかを考える思考力が生かせそうだなと思いました。今回のこの行事の成功は先生のおかげでもあります。本当に全員できて良かった!! 全てに感謝を!!

○この赤船祭で私が学んだことは2つあって、1つ目はみんなで意見を出してみんなで考えることが大事なんだと分かりました。はじめ応援合戦の音楽を決めるときに、自分じゃ考えていなかった曲がアイデアに出てきて、そこから全員が踊れそうなダンスの振りつけをリーダーどうして話し合いながら考えました。その結果、1、2、3年生みんなが楽しくおもいきり踊れるダンスになったんだなと思います。2つ目に学んだことは、言葉の力はすごいということです。3-1が考えた「スマイルコーン」というパワーワードがこんなに青組を元気にできる言葉だと思っていなかったのびっくりしました。練習中、なんとなく全体のテンションが低かったり、やる気が出なかったりした時にこの言葉を大声でジャンプして声に出したら自然と周りに笑顔が見えていて、やっぱり言葉の力はすごいと思ったし、このパワーワードにして良かったなと思いました。この赤船祭でできたみんなのやる気を今度は次へと出していきななと思いました。音コンのピアノ伴奏もやるか迷っていたけど、挑戦してみようかなと思いました。本当に今回赤船祭をみんなで全力でやり切ってとても良かったです。一生の思い出になりました。

○今年の赤船祭で、私は初めて思ったことを言葉にして伝えた。「こうしたい」という意見を持った。校長先生の仰る「殻を破る」ほどではない「薄皮をめくる」程度の進歩だが、私の大切な成長だ。今回の赤船祭では、同級生からリーダーが出た。そのためか、リーダーが自分の身近な存在として感じられ、「協力しよう」「支えたい」と強く感じるようになった。赤船祭ではリーダーをしなかったが、次の行事のサブプロでは私は立候補できた。リーダーの経験は少ないが、企画を考えたり、進めたりすることを頑張りたいと思っている。最後に、次にこの時期にはコロナが収束していることを祈りたい。私達は3回中3回「体育祭」という形では行えなかった。特に2年生の人達は最後の1回だけでも「体育祭」を経験してほしいと思う。